

令和4年度 第2回協働のまちづくり検討部会

日時 令和4年12月13日(火)
午後6時30分～午後8時(予定)
場所 市役所4階 講堂

- 1 開 会
- 2 地域政策部長あいさつ
- 3 部会長あいさつ
- 4 報告事項
協働のまちづくり推進計画の評価・検証について
- 5 議 題
まちづくりセンターの評価・検証について
- 6 その他
第3回協働のまちづくり検討部会
時期：令和5年3月頃
- 7 閉 会

配布資料

-
- 資料1：意見書での部会委員意見及び回答
 - 資料2：協働のまちづくり推進計画取組項目 進捗管理一覧
 - 資料3：令和4(2022)年度の取組に対する評価 ※イメージ
 - 資料4：協働のまちづくり推進計画取組項目 実績一覧【令和4(2022)年度実績】
 - 資料5：令和4(2022)年度の取組に対する評価 ※イメージ(単年度実績)
 - 資料6：まちづくりセンター職員アンケート(案)
 - 資料7：地区まちづくり推進委員会アンケート(案)
 - 資料8：公民館・コミュニティセンター調査票
 - 資料9：まちづくりセンター台帳(案)

浜田市総合振興計画審議会協働のまちづくり検討部会名簿

1 部会委員

(敬称略・順不同)

No.	区 分	推薦団体等・職名	役職	氏 名	備考
1	識見者	浜田市協働のまちづくり推進に関する条例検討委員会	会長	長 畑 実	部会長
2	関係行政機関	浜田市社会教育委員の会	会長	富金原 完	副部会長
3		浜田市まちづくりセンター合同連絡会	会長	原 田 和 義	
4	地域協議会	浜田地域協議会	会長	村 井 栄美子	
5		金城地域協議会	委員	宮 本 美保子	
6		旭地域協議会	会長	岡 山 令 子	
7		弥栄地域協議会	会長	徳 田 マスエ	
8		三隅地域協議会	会長	岡 田 綾 子	
9	地区まちづくり推進委員会	後野町まちづくり推進委員会	会長	虫 谷 昭 則	
10		今福地区まちづくり委員会	会長	岩 崎 敏	
11		ふる里市木	会長	徳 川 博	
12		弥栄のみらい創造会議	会長	石 橋 正 夫	
13		三隅地域まちづくり会議	会長	齋 藤 正 美	

2 浜田市

No.	職 名	氏 名	備考
1	地域政策部長	邊 寿 雄	

3 事務局

No.	職 名	氏 名	備考
1	地域活動支援課長	末 岡 論 子	
2	地域活動支援課 地域活動支援係長	福 間 裕 介	
3	地域活動支援課 地域活動支援係 主事	岡 通 子	
4	地域活動支援課 地域活動支援係 主事	若 松 弘 樹	
5	まちづくり社会教育課長	永 田 直 久	
6	まちづくり社会教育課 まちづくり社会教育係長	藤 井 雄 也	
7	金城支所防災自治課長 (金城分室長)	岩 崎 久 佳	
8	旭支所防災自治課長 (旭分室)	細 川 光 彦	
9	弥栄支所防災自治課長 (弥栄分室)	上 原 文 香	
10	三隅支所防災自治課長 (三隅分室長)	石 原 孝 光	

基本方針Ⅰ：協働の意識づくりと主体的なまちづくりの推進

1 理念の共有

① 条例及び推進計画の周知等

条例及び本計画について、分かりやすいパンフレットなどを作成し、職員及び市民等に学習会等による周知及び説明を行うとともに、市民等が開催する研修会等を支援します。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
協働のまちづくりに関する学習会等の開催 [毎年度評価]		開催回数	6回	目標値	7回	8回	9回	10回	
				実績値					
				目標達成率					
担当課	政策企画課・地域活動支援課・各支所防災自治課	評価							

【令和3(2021)年度取組事例】

民生児童委員協議会総会、まちづくり推進委員会総会、島根県市町村職員年金者連盟総会 など

② 出前講座等の開催

市民等が出前講座等を開催する場合は、市から講師を派遣し、条例や協働のまちづくり等、市の施策や制度等について分かりやすく説明します。併せて、市民等に対し、出前講座等の開催の働きかけを行います。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
出前講座の実施 [毎年度評価]		開催回数	356回	目標値	360回	370回	380回	390回	
				実績値	0	0	0	0	
				目標達成率					
担当課	全課	評価							

【令和3(2021)年度取組事例】

防災、救急・救命、ごみの分別・リサイクル、健康づくり、介護予防、地域計画、すこやか員研修会、保健医療福祉合同研修会、森林教室、浜田市観光ボランティアの会研修会 など

2 人材の育成支援

① 人材育成研修会の開催

地域で既に役員等として活動する人へのスキルアップを目的とした研修会を開催します。地域活動や市民活動等の成功事例や他地域の現状を学ぶことにより、活動内容の充実や新たな事業の展開につながる取組を進めます。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
人材育成(スキルアップ)研修の開催 [毎年度評価]		開催回数	24回	目標値	25回	26回	27回	28回	
				実績値					
				目標達成率					
担当課	全課	評価							

【令和3(2021)年度取組事例】

食生活改善推進協議会各支部研修会、すこやか員研修会、食生活改善推進員養成講座、子育て支援員研修(講師派遣)、生涯学習のまち・地域づくり研修会 など

②まちづくり市民集会の開催

多くの市民が協働への理解と関心を深めるとともに、積極的に地域活動や市民活動等に参加しようとする意識の醸成が図れるよう、協働やまちづくりに関する市民集会等を開催します。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
協働のまちづくりフォーラムの開催 [令和5(2023)年度から評価]		参加者数	-	目標値					
				実績値					
				目標達成率					
				評価					
担当課	地域活動支援課								

【参考】

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3(2021)年度はオンデマンド配信としたため、令和4(2022)年度実績値を基準に評価・検証を行う。

3 情報発信、共有の推進

①情報発信機能及び体制の強化

広報はまだ(市広報紙)のみならず、市ホームページ、メディア、まちづくりセンター内の掲示板など、様々な媒体や機会を活用してまちづくりに関する情報を幅広く提供し、市民等への周知を図ります。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
各課における事業及び施策の情報発信 (広報はまだ、市ホームページ、SNS、メディア(CATVなど)、 公共施設内の掲示板) [毎年度評価]		情報 発信数	4,558件	目標値	4,600件	4,700件	4,800件	4,900件	
				実績値					
				目標達成率					
				評価					
担当課	全課								

【令和3(2021)年度取組事例】

出前講座(広報はまだ、市ホームページ、石見ケーブルビジョン)、防災情報(防災メール、SNS等)、各種会議結果、まちづくりセンターだより(市ホームページ)、各種事業案内(ポスター掲示、チラシ配布)、情報発信コーナー(庁舎内展示・掲示) など

②協働事例集の作成・周知

市民等と市が協働で実施した事業を取りまとめ、「協働事例集」を作成し、様々な媒体や機会を活用して市民等への周知を図ります。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
協働事例集の作成 [毎年度評価]		掲載 事業数	11事業	目標値	12事業	14事業	16事業	18事業	
				実績値					
				目標達成率					
				評価					
担当課	全課								

【令和3(2021)年度取組事例】

「課題解決特別事業実践集」「全国未成線サミット報告書」 など

4 若い世代が参加しやすい機会づくり

①まちづくりセンターを拠点とした協働事業

まちづくりセンターを中心に学校と連携したふるさと教育を行い、地域、学校、家庭が一体となって子どもの育ちを支える機運を醸成するとともに、親世代と地域が関わることによる新たな人材の育成を図ります。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
学校と連携したふるさと教育、親世代と地域が関わった事業の実施 [令和5(2023)年度から評価]		参加者数	-	目標値					
				実績値					
				目標達成率					
				評価					
担当課	学校教育課(まちづくり社会教育課)								

【参考】

センター事業の参加者数について、令和3(2021)年度以前は統一した計測方法でなかったため、令和4(2022)年度から統一した計測方法により実績値を求め、これを基準に評価・検証を行う。
 [令和3(2021)年度実施事業] (全26センターで計画・推進)
 自分たちの住んでいる周辺地域(山・海・産業)の特色を知ろう！、金城地域3センター連携共育推進事業、ふるさと学習地域協働活動事業、ふれあい地域交流会、三隅っ子共育 など

②社会教育等の手法を活かした人材育成

地域の「ひと・もの・こと」を活用した活動を通じて、ふるさとへの愛着や誇りを醸成し、心豊かでたくましく、次代を担う子どもの育成を図ります。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
地域資源「ひと・もの・こと」を活用した事業の実施 [令和5(2023)年度から評価]		参加者数	-	目標値					
				実績値					
				目標達成率					
				評価					
担当課	学校教育課(まちづくり社会教育課)								

【参考】

センター事業の参加者数について、令和3(2021)年度以前は統一した計測方法でなかったため、令和4(2022)年度から統一した計測方法により実績値を求め、これを基準に評価・検証を行う。
 [令和3(2021)年度実施事業] (全26センターで計画・推進)
 お仕事体験「ハマダニア」、地域の防災力を高め 命を守ろう！！、今市の魅力再発見～イマフル～、放課後子ども教室(マジスクール)、地域の子どもが地域を知る・学ぶ事業 「キラキラ☆白砂の海」 など

5 職員の意識向上

①職員研修の実施

職員が協働の意味を正しく理解し、実践できるよう職員研修を定期的 to 実施します。
 また、職員も地域の一員として地域活動に積極的に参加するよう意識の醸成を図ります。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
協働に係る職員研修の実施 [毎年度評価]		開催回数 (受講者数)	2回 (延べ 692人)	目標値	2回	2回	2回	2回	
				実績値					
				目標達成率					
				評価					
担当課	地域活動支援課								

【令和3(2021)年度取組事例】

「浜田市協働のまちづくり推進条例」「まちづくりセンター」に関する職員研修、「新規採用職員」研修

②職員意識調査の実施

職員の協働に対する理解度や地域活動や市民活動等への参加状況について、定期的に意識調査を実施します。その結果を踏まえて、在職中や退職後の地域活動や市民活動等への積極的な参加を促します。

具体的な取組		指 標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
職員意識調査(毎年度実施)		協働の 認知度	91.0%	目標値	100%	100%	100%	100%	
				実績値					
				目標達成率					
				評 価					
	[毎年度評価]	条例の 認知度	87.2%	目標値	100%	100%	100%	100%	
				実績値					
				目標達成率					
				評 価					
担当課	地域活動支援課								

【実施日(策定時)】

令和3(2021)年10月18日～10月27日[1回目]、令和3(2021)年12月17日～12月28日[2回目]

基本方針Ⅱ：活動基盤の整備

1 活動体制の整備

①まちづくり活動団体への財政的支援

市民等が主体的に行う様々な地域活動や市民活動等の継続及び拡充に向けた補助金制度を周知し、活用を支援します。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
・市民活動に対する補助 ・地域活動に対する補助 [毎年度評価]		補助件数 (交付決定)	278件	目標値	280件	290件	300件	310件	
				実績値					
				目標達成率					
担当課	全課		評価						

【令和3(2021)年度取組事例】

市民協働活性化支援事業、地域づくり振興事業、地域子育て支援活動事業、まちなか賑わい創出イベント事業 など

②市民相談窓口の充実

地域活動や市民活動に関する相談窓口を充実させるとともに、各団体の運営に関するマニュアル等を作成し、運営を支援します。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
地域活動団体、市民活動団体からの相談対応 [評価対象外]		相談件数	24件	目標値	-	-	-	-	-
				実績値					
				目標達成率	-	-	-	-	
担当課	全課		評価	-	-	-	-		

【令和3(2021)年度取組事例】

相談：町内会運営、あいのりタクシー、浜田駅パーク&ライド、市営バス待合所、コロナ禍の町内会活動 など

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
地域活動団体及び市民活動団体の運営に関するマニュアルの作成(更新) [評価対象外]		マニュアル 作成(更新) 数	4冊	目標値	-	-	-	-	-
				実績値					
				目標達成率	-	-	-	-	
担当課	地域活動支援課・各支所防災自治課		評価	-	-	-	-		

【令和3(2021)年度取組事例】

運営マニュアル：まちづくり総合交付金の手引、新型コロナウイルス感染症に関する町内会等活動ガイドブック など

③自治会活動保険の整備

市民が安心して地域活動に取り組めるよう、地区まちづくり推進委員会や町内会等が主催する活動に対する保険に市が加入し、活発な活動となるよう支援します。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
自治会活動保険への加入 [評価対象外]		契約実績	実施	目標値	-	-	-	-	-
				実績値					
				目標達成率	-	-	-	-	
担当課	地域活動支援課			評価	-	-	-	-	

【契約内容】

普通傷害保険(住民の傷害事故を補償)、傷害見舞費用保険(傷害事故に対する見舞金)

④国、県、民間等の補助金制度の情報提供

国、県、民間などの機関が実施する補助金制度の情報を収集し、まちづくり活動団体に情報提供を行うことで、地域活動や市民活動等の資金確保を支援します。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
国、県、民間などの機関が実施する補助金制度の情報提供 [評価対象外]		情報発信 (案内)数	22件	目標値	-	-	-	-	-
				実績値					
				目標達成率	-	-	-	-	
担当課	全課			評価	-	-	-	-	

【令和3(2021)年度取組事例】

農林業補助事業、豊かな森づくり推進事業、TSKグループ伝統芸能助成事業、戦争体験を語り継ぐ次世代継承事業 など

⑤高等教育機関との連携の拡大

協働事業に関する情報や支援制度を高等教育機関に提供し、学生が地域活動や市民活動等に参加しやすい環境を整備します。

具体的な取組		指 標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
「大学等高等教育機関と連携したまちづくり推進事業に対する補助」 ★総合振興計画 [毎年度評価]		補助件数 (交付決定)	1件	目標値	1件	5件	9件	13件	
				実績値					
				目標達成率					
				評 価					
担当課	地域活動支援課								

【令和3(2021)年度取組事例】
 補助事業: 更生保護3団体合同研修会
 <新型コロナウイルス感染症の影響> 高等教育機関では活動を自粛したため、取組がコロナ以前と比較して減少した。

具体的な取組		指 標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
高等教育機関の学生と地域活動団体又は市民活動団体との連携支援 [毎年度評価]		参加者数	493人	目標値	500人	550人	600人	650人	
				実績値					
				目標達成率					
				評 価					
担当課	全 課								

【令和3(2021)年度取組事例】
 参加事業: かなぎシェアハウス学習支援事業 など
 <新型コロナウイルス感染症の影響> 高等教育機関では活動を自粛したため、取組がコロナ以前と比較して減少した。

⑥共同研究の実施及び成果の活用

市の課題や政策について島根県立大学と共同研究を実施し、その成果の活用に向けた取組を進めます。

具体的な取組		指 標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
共同研究の実施 ★総合振興計画 [毎年度評価]		共同 研究数	6事業	目標値	6事業	6事業	6事業	6事業	
				実績値					
				目標達成率					
				評 価					
担当課	地域活動支援課								

【令和3(2021)年度取組事例】
 石見神楽ライブ配信の試行を通じた課題の検討、「1日バス乗車券」を用いた島根県浜田市の公共交通活性化について など

2 活動拠点の整備

①集会所施設、関連設備等整備事業(地域づくり振興事業)の活用

自治集会所等の新築、改修又は修繕などで必要となる費用の一部を補助する制度を継続して実施するとともに、制度の周知を図ります。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
集会所施設、関連設備等の整備に対する補助(地域づくり振興事業) [評価対象外]		補助件数 (交付決定)	50件	目標値	-	-	-	-	-
				実績値					
				目標達成率	-	-	-	-	
				評価	-	-	-	-	
担当課	地域活動支援課								

【令和3(2021)年度取組事例】

屋根改修、エアコン取付、トイレ洋式化、LED照明取替 など

②まちづくりセンターの新規整備

石見地区において、地域活動や市民活動等のまちづくり活動の拠点施設として、石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンターの整備を図ります。(令和5(2023)年度着工・完成予定)

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンターの整備(令和5(2023)年度着工・完成予定) [評価対象外]		整備実績	協議 検討	目標値	-	-	-	-	-
				実績値					
				目標達成率	-	-	-	-	
				評価	-	-	-	-	
担当課	まちづくり社会教育課								

③まちづくりセンター活動の環境整備

まちづくりセンターの施設改修、設備・備品の更新又は修繕を計画的に実施します。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
まちづくりセンターの施設改修 [評価対象外]		施設改修 (修繕) 件数	9件	目標値	-	-	-	-	-
				実績値					
				目標達成率	-	-	-	-	
				評価	-	-	-	-	
担当課	まちづくり社会教育課								

【令和3(2021)年度取組事例】

施設改修:照明LED化更新工事 など

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
まちづくりセンターの設備・備品の更新又は修繕 [評価対象外]		備品更新 (修繕) 件数	64件	目標値	-	-	-	-	-
				実績値					
				目標達成率	-	-	-	-	
				評価	-	-	-	-	
担当課	まちづくり社会教育課								

【令和3(2021)年度取組事例】

備品更新・修繕:事務端末更新、入口建具修繕 など

3 情報共有機会の創出

①協働事業やまちづくり活動情報の発信

市内で行われる協働事業やまちづくり活動団体の情報を収集し、市ホームページ等で広く市民に発信します。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
・協働事業の情報発信(掲載) ・まちづくり活動団体の活動情報等の発信(広報はまだ、市ホームページ等への掲載) [毎年度評価]		情報発信(掲載)数	69件	目標値	80件	90件	100件	110件	
				実績値					
				目標達成率					
担当課	全課			評価					

【令和3(2021)年度取組事例】

[広報はまだ]コミュニティ助成事業、各種団体主催行事 など [ホームページ]市民協働活性化支援事業、各種団体主催行事 など [パンフレット等配架]各種団体主催行事 など

②まちづくり活動団体間の連携の推進

まちづくり活動団体間でそれぞれが持つノウハウを活かしつつ、活動の継続や拡充に向けて連携できる環境を整備します。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
市民活動ネットワーク会議の開催 [毎年度評価]		開催回数	8回	目標値	8回	9回	10回	11回	
				実績値					
				目標達成率					
担当課	全課			評価					

【令和3(2021)年度取組事例】

まちづくり連絡会、食育推進ネットワーク会議、今福線を活かす連絡協議会総会、知音都市交流実務広報担当者会議 など

基本方針Ⅲ：地域自治の強化

1 組織力の強化及び地区まちづくり推進委員会の組織化支援

①地区まちづくり推進委員会の組織化支援

まちづくりセンター及びまちづくりコーディネーターと連携し、地区まちづくり推進委員会の設立に向けその取組を支援します。

具体的な取組	指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
地区まちづくり推進委員会の設立支援 ★総合振興計画 [毎年度評価]	組織率	80.5%	目標値	82.0%	85.0%	88.0%	90.0%	
			実績値					
			目標達成率					
			評価					
担当課	地域活動支援課							

【令和3(2021)年度設立団体】
2団体：片庭連合会、周布地区まちづくり委員会

②町内会等の加入促進

役員の担い手や活動への参加者や協力者を増やし、活動の活性化につなげるため、町内会等と連携して町内会等の加入の強化を図ります。

具体的な取組	指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
町内会等への加入促進 ★総合振興計画 [毎年度評価]	加入率	-	目標値	79.0%	81.0%	83.0%	85.0%	
			実績値					
			目標達成率					
			評価					
担当課	地域活動支援課							

【参考】
令和2(2020)年度概数：75.0%[総合振興計画後期基本計画掲載値]

③各種手引の充実と周知

日々の活動や組織運営に必要な情報を集約し、各種手引の内容を充実するとともに、活用に向けて周知します。

具体的な取組	指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
町内会等の各種手引の作成(更新) [評価対象外]	作成数	3冊	目標値	-	-	-	-	-
			実績値					
			目標達成率	-	-	-	-	
			評価	-	-	-	-	
担当課	地域活動支援課							

【令和3(2021)年度取組事例】
まちづくり総合交付金の手引(更新)、新型コロナウイルス感染症に関する町内会等活動ガイドブック(作成)、地区まちづくり計画の作り方(計画策定マニュアル)(更新)

2 活動資金の確保、充実の支援

①活動資金の確保、検証

地域課題の解決や活性化のため、主体的に取り組む地区まちづくり推進委員会等の活動資金の確保を支援するとともに、まちづくり総合交付金制度の検証を行います。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
地区まちづくり推進委員会等に対する補助 [評価対象外]		補助件数 (交付決定)	131件	目標値	-	-	-	-	-
				実績値					
				目標達成率	-	-	-	-	
担当課	全課		評価	-	-	-	-		

【令和3(2021)年度取組事例】

補助事業:まちづくり総合交付金事業、あいのりタクシー等運行支援事業、中山間地域等直接支払制度 など

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
まちづくり総合交付金課題解決特別事業の採択事業数 [毎年度評価]		事業数	5事業	目標値	6事業	8事業	10事業	12事業	
				実績値					
				目標達成率					
担当課	地域活動支援課		評価						

【令和3(2021)年度取組事例】

課題解決特別事業:幻の広浜鉄道「今福線」ガイドの会育成事業(佐野・宇津井地区まちづくり推進委員会)、屋外用販売テント(移動式店舗)整備事業・(今福地区まちづくり委員会) など
 <新型コロナウイルス感染症の影響> 地区まちづくり推進委員会等では活動を自粛したため、取組がコロナ以前と比較して減少した。

②国、県、民間等の補助金制度の情報提供

国、県、民間などの機関が実施する補助金制度の情報を収集し、地区まちづくり推進委員会等に情報提供を行い、活動資金確保を支援を行います。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
国、県、民間などの機関が実施する補助金制度の情報提供 [評価対象外]		情報発信 (案内)数	20件	目標値	-	-	-	-	-
				実績値					
				目標達成率	-	-	-	-	
担当課	全課		評価	-	-	-	-		

【令和3(2021)年度取組事例】

コミュニティ助成事業(防災、一般)、しまね文化ファンド、地域で取り組む生涯スポーツ事業 など

3 まちづくりセンター機能の充実・強化及びまちづくりコーディネーターによる支援

①地域課題の把握とまちづくりコーディネーターによる支援

まちづくりセンターが中心となり、市民等と地域課題の把握及び共有を図ります。
また、課題解決のための市民等が主体的に取り組む活動について、まちづくりセンターとまちづくりコーディネーターが中心となり、市の各部署と連携を図りながら支援を行います。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
地区概要書の作成 [評価対象外]		作成 地区数	26地区	目標値	-	-	-	-	-
				実績値					
				目標達成率	-	-	-	-	
担当課	地域活動支援課・まちづくり社会教育課			評価	-	-	-	-	

【令和3(2021)年度取組事例】
作成地区:全26センター

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
まちづくりコーディネーターによる支援 [毎年度評価]		支援 地区数	23地区	目標値	23地区	24地区	25地区	26地区	
				実績値					
				目標達成率					
担当課	地域活動支援課・まちづくり社会教育課			評価					

【令和3(2021)年度取組事例】
支援地区:浜田地域(4地区) 浜田地区(朝日町、錦町、栄町、港町、高田町、清水町、原井町、笠柄町)、石見地区(生湯町、黒川町)、長浜地区、周布地区、金城地域(全6地区)、旭地域(全5地区)、弥栄地域(全2地区)、三隅地域(全6地区)

②まちづくりセンター職員研修の実施

まちづくりセンター職員がまちづくり活動団体等からの相談に円滑かつ有効に対応し、まちづくり活動に必要な支援を行えるよう、各センター職員向けの研修を行うとともに、計画的な社会教育士の取得を進め、職員のスキルアップを図ります。
また、センター間の情報交換会を実施し、相談・連携機能の強化を図ります。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
研修会の実施 [毎年度評価]		開催回数	7回	目標値	12回	12回	12回	12回	
				実績値					
				目標達成率					
				評価					
担当課	まちづくり社会教育課								

【令和3(2021)年度取組事例】

研修会:[浜田市主催]新任センター職員研修、ファシリテート力アップ講座 など [他団体と共催]人口推計研修、社会教育研修、コーディネーター研修、しまねの社会教育基礎講座 など

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
社会教育士の称号取得 ★総合振興計画 [毎年度評価]		取得者数	12人	目標値	6人	6人	6人	7人	
				実績値					
				目標達成率					
				評価					
担当課	まちづくり社会教育課								

【令和3(2021)年度取組事例】

社会教育士(称号)取得者(各1人):[浜田地域]浜田、石見、長浜、大麻 [金城地域]今福、波佐 [旭地域]今市 [弥栄地域]安城 [三隅地域]三保、白砂、三隅、黒沢

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
センター連絡会、センター長会、主事会の開催 [毎年度評価]		開催回数	55回	目標値	55回	60回	60回	60回	
				実績値					
				目標達成率					
				評価					
担当課	まちづくり社会教育課								

③まちづくりコーディネーター研修の実施

まちづくり活動団体への支援に必要な知識等の習得のため、まちづくりコーディネーターに対して研修会を実施します。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
研修会の開催 [毎年度評価]		開催回数	6回	目標値	6回	6回	6回	6回	
				実績値					
				目標達成率					
				評価					
担当課	まちづくり社会教育課								

【令和3(2021)年度取組事例】

まちづくりコーディネーター研修会、ファシリテート力アップ講座、浜田市のまちづくりについて、人口推計研修、社会教育研修 など

基本方針Ⅳ：協働の仕組みづくり

1 協働推進体制の整備

①協働推進員の配置

各課等に協働を推進するため職員(協働推進員)を配置するとともに、協働推進員を対象とした研修会等を実施します。

具体的な取組	指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
研修会の開催 [毎年度評価]	開催回数	-	目標値	2回	2回	2回	2回	
			実績値					
			目標達成率					
			評価					
担当課	地域活動支援課							

②評価・検証体制の整備(総合振興計画審議会、協働のまちづくり検討部会、協働推進本部)

学識経験者、関係団体代表者及び公募市民で構成する「浜田市総合振興計画審議会」及び「協働のまちづくり検討部会」に進捗状況を報告し、評価やより良い施策とするための意見を受け、改善を行います。
また、市の組織である「協働推進本部」において進捗状況を確認し、自己点検・検証を行います。

具体的な取組	指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
各会議における進捗状況の報告及び自己点検、検証 [評価対象外]	改善 (指摘) 件数	-	目標値	-	-	-	-	-
			実績値					
			目標達成率	-	-	-	-	
			評価	-	-	-	-	
担当課	地域活動支援課							

2 市民参画機会の確保

①地域協議会との連携

地域の課題や問題を取り上げ、より良いまちづくりを推進するため、市長の附属機関として設置した地域協議会と連携し、市の重要施策や一体的なまちづくりについて協議します。また、地域協議会から出された意見については尊重し、市の行う施策等への反映に努めます。

具体的な取組	指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
地域協議会の開催 [毎年度評価]	開催回数	24回	目標値	25回	26回	27回	28回	
			実績値					
			目標達成率					
			評価					
担当課	地域活動支援課・各支所防災自治課							

【令和3(2021)年度開催状況】

浜田地域:3回、金城地域:6回、旭地域:5回、弥栄地域:4回、三隅地域6回

②パブリックコメントの実施

市の基本的な施策等を決定する過程において、広く市民に意見等を求めるためパブリックコメントを実施します。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
パブリックコメントの実施 [評価対象外]		実施数	10件	目標値	-	-	-	-	-
				実績値					
				目標達成率	-	-	-	-	
				評価	-	-	-	-	
担当課	全課								

【令和3(2021)年度取組事例】

浜田市行財政改革大綱、第2次浜田市総合振興計画後期基本計画、浜田市協働のまちづくり推進計画 など

③市民意識調査の実施

本計画の更新に合わせて、市民、各種団体の協働に対する認識、まちづくり活動や社会貢献活動の現状・課題等を把握し、協働のまちづくりを推進するための施策や計画に反映するため、市民意識調査を実施します。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
市民意識調査の実施 (令和5(2023)年度、令和7(2025)年度実施予定)		協働の 認知度	58.9%	目標値	-	70.0%	-	75.0%	
				実績値	-		-		
				目標達成率	-		-		
				評価	-		-		
[実施年度分のみ評価]		条例の 認知度	41.9%	目標値	-	70.0%	-	75.0%	
				実績値	-		-		
				目標達成率	-		-		
				評価	-		-		
担当課	地域活動支援課								

【令和3(2021)年度実施内容】

実施期間: 令和3(2021)年10月

対象:[市民アンケート]満15歳以上の市民1,500人(住民基本台帳から年代別に無作為抽出) [団体アンケート]地区まちづくり推進委員会(36団体)、町内会・自治会(88団体)、NPO法人(26法人)、事業者代表(4団体)、高等教育機関(5校)

④説明会・ワークショップの開催

市民に対し、市の施策や計画などの概要について直接説明し、質疑応答や意見交換を行います。また、ワークショップ等の手法も活用し、より多くの市民等の意見が反映できるよう努めます。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
市の施策や計画に関する説明会(意見 交換会等)の実施 [毎年度評価]		開催回数	113回	目標値	115回	120回	125回	130回	
				実績値					
				目標達成率					
				評価					
担当課	全課								

【令和3(2021)年度取組事例】

浜田市総合防災訓練説明会、元気な浜田づくり市民委員会、まちづくり総合交付金事務説明会、あいのりタクシー事業説明会、ふるさと寄附説明会、マイタイムライン作成ワークショップ など

⑤意見・要望の把握

市が行う事業や施策に対する市民等からの意見・要望・提言等については、その内容を検討し、より多くの市民等の意見が当該事業や施策に反映できるよう努めます。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
市民等からの意見、要望、提言等 [毎年度評価]	市長 直行便	115件	目標値	-	-	-	-	-	
			実績値						
			目標達成率	-	-	-	-		
			評価	-	-	-	-		
	陳情 要望	168件	目標値	-	-	-	-	-	
			実績値						
			目標達成率	-	-	-	-		
			評価	-	-	-	-		
担当課	上段:市長公室 下段:全課								

【意見・要望等内容(令和3(2021)年度)】

市長直行便:新型コロナウイルス関連の対応 など

陳情、要望:回覧板情報の提供方法の検討を求める陳情、道路改良に係る要望、図書館職員の配置に関する要望 など

3 地域資源や課題の共有

①円卓会議の促進

地域の特性や課題に応じた取組を進めるため、まちづくり活動団体が話し合いの場を設けることを促すとともに、職員も積極的に参加し、地域内における資源や課題を共有します。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
地域の話し合いの場への参加 [毎年度評価]	参加回数	147回	目標値	145回	150回	155回	160回		
			実績値						
			目標達成率						
			評価						
担当課	全課								

【令和3(2021)年度取組事例】

地区まちづくり推進委員会設立準備会、浜田商工会議所例会、石州半紙技術者会・和紙協働組合等定例会、今福線を活かす連絡協議会、浜田市*松阪市友好の会 など

②まちづくり活動団体間の連絡会議開催支援

情報共有や学び合いの場を設け、連携・協働することにより住民主体のまちづくりが推進されるようにまちづくり活動団体間の連絡会議の開催を支援します。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
地区まちづくり推進委員会連絡会議の 開催 [毎年度評価]	開催回数	16回	目標値	16回	16回	16回	16回		
			実績値						
			目標達成率						
			評価						
担当課	地域活動支援課・各支所防災自治課								

【令和3(2021)年度開催状況】

浜田地域:1回、金城地域:3回、旭地域:3回、弥栄地域:7回、三隅地域:2回

③事業者との連携

事業者の特性や専門性を活かし、公民連携による市民サービスの向上や地域課題の解決に向けた取組を進めます。また、事業者が取り組む公益的活動をまちづくり活動団体に情報提供することにより、事業者とまちづくり活動団体との協働の機会創出や連携強化に努めます。

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
事業者の特性や専門性を活かした公民連携による市民サービスの向上		指定管理 施設数	65施設	目標値	-	-	-	-	-
				実績値					
				目標達成率	-	-	-	-	
				評価	-	-	-	-	
[評価対象外]		委託件数	1,117件	目標値	-	-	-	-	-
				実績値					
				目標達成率	-	-	-	-	
				評価	-	-	-	-	
担当課	全課								

【令和3(2021)年度取組事例】

指定管理業務: 総合福祉センター、火葬場、旭温泉あさひ荘、世界子ども美術館創作活動館 など
 委託業務: 元気な浜田づくり市民委員会開催業務、音楽を核とした定住促進事業、生活路線バス管理運行事業、配食サービス事業、浜田スクールバス運行管理業務 など

具体的な取組		指標	策定時 現状値	進捗管理	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	4年間の評価
事業者が取り組む公益的活動の情報発信及びまちづくり活動団体への情報提供 [毎年度評価]		情報 提供数	0件	目標値	2件	3件	4件	5件	
				実績値					
				目標達成率					
				評価					
担当課	全課								

「まちづくりセンターの評価・検証」に関する まちづくりセンター職員アンケート

調査票の回答に当たって

- ◇ 公民館時とまちづくりセンターの比較の設問に関しては、直近の公民館時(平成31年～令和2年度)と比較して回答してください。
- ◇ 選択制の設問は、当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- ◇ 「その他」を選んだ場合は、〔 〕内にその内容をできるだけ具体的に書いてください。
- ◇ アンケートの回答にあたっては、まちづくりセンター長、主事の皆様の意見を集約した上で回答してください。
- ◇ 調査結果につきましては、集計・分析の上、まちづくりセンターの評価検証の資料として活用させていただきますが、全ての回答を統計的に処理するため、職員が特定されることはありません。

回答方法

アンケートの回答については、次のどちらかをお選びいただき、ご回答をお願いします。

●回答方法1

逡送便 ⇒ このアンケート用紙を全て記入していただき、逡送便でご返送ください。

●回答方法2

オンラインでの回答 ⇒ 下のQRコード、またはURLからアンケートをお願いします。その場合は、アンケート用紙の返送は必要ありません。

オンライン版
QRコード



URL

<https://logoform.jp/form/6gWK/202581>

【回答締切】

令和5年2月13日(月)までに、逡送便またはオンラインで回答をお願いします。

センター名

セ ン タ ー

1 所管について

令和3年度より、所管部局が教育委員会から市長部局へと変わりました。そのことに対する変化や、今後の在り方の意見等についてお伺いします。

問1 本庁及び支所の相談体制(まちづくりコーディネーター、派遣社会教育主事含む)についてお伺いします。公民館時と比較し、該当するものに○をしてください。また、その理由があれば記入してください。

1 相談しやすくなった

2 あまり変化はない

3 相談しにくくなった

4 その他 []

【理由】

<hr/> <hr/> <hr/>

問2 問1において、「2 あまり変化はない」、「3 相談しにくくなった」と回答された方にお尋ねします。本庁及び支所(まちづくりコーディネーター、派遣社会教育主事含む)がどのような体制であれば、相談しやすいと思いますか。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

問3 日常の事務手続(毎月の勤務報告や自家用車公務使用の報告等)についてお尋ねします。公民館時と比較し、該当するものに○をしてください。

1 わかりやすくなった

2 あまり変化はない

3 わかりにくくなった

4 その他 []

問 4 問 3 において、「あまり変化はない」、「わかりにくくなった」と回答された方にお尋ねします。わかりやすくなるためには、どのような工夫・改善が必要だと思いますか。

問 5 その他、所管についてご意見やご提案等あれば自由に記入してください。

2 業務(事業)について

I 協働のまちづくりの推進に関することについて

問 6 地区まちづくり推進委員会の「事務局」を担っていますか。

1 はい ⇒ 問 7 へ

2 いいえ ⇒ 問 13 へ

問 7 事務局として行っている主な業務を以下から選択してください(○はいくつでも可)。

1 各種会議の調整・運営

2 まちづくり総合交付金の申請及び実績報告事務

3 事業の企画・運営

4 会計事務

5 研修の企画・運営

6 委員会の取組等の情報発信

7 地域課題の把握

8 地区まちづくり計画・各種計画の策定

9 その他

[

]

問 8 いつから事務局を担っていますか。年月を記入してください。

平成・令和 _____ 年 ____ 月 から

⇒令和 3 年 3 月 31 日以前の場合、問 9 へ進んでください。

⇒令和 3 年 4 月 1 日以降の場合、問 11 へ進んでください。

問 9 公民館時に事務局を担うことになった大きな理由は何ですか。該当するものに○をしてください(○はいくつでも可)。

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1 公民館以外に事務局機能を担える人材等が区内にいなかったため。 | 2 地区まちづくり推進委員会と協議し、地区としては公民館が事務局を担うことが最適と判断したため。 |
| 3 公民館として、事務局を担うべきと判断したため。 | 4 地区まちづくり推進委員会から要望があったため。 |
| 5 まちづくりの担当部署から事務局を担うよう指示があったため。 | |
| 6 その他 | [] |

問 10 公民館からまちづくりセンターに移行したことにより、事務局の業務に変化はありましたか。また、その内容と理由を記入してください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 変化があった | 2 変化はなかった |
|----------|-----------|

【内容及び理由】

.....
.....
.....
.....

⇒P5 の問 12 へ進んでください。

問 11 まちづくりセンターになり、事務局を担うことになった大きな理由は何ですか。該当するものに○をしてください(○はいくつでも可)。

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1 | まちづくりセンターになり、「協働のまちづくりの推進」が業務として位置づけられたため。 | 2 | 地区まちづくり推進委員会と協議し、地区としてはセンターが事務局を担うことが最適と判断したため。 |
| 3 | まちづくりセンターとして、事務局を担うべきと判断したため。 | 4 | 地区まちづくり推進委員会から要望があったため。 |

5 その他 []

問 12 地区まちづくり推進委員会の事務局を担う上で、良かったこと、工夫していること、困っていること等自由に記入してください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

⇒P6 の問 16 へ進んでください。

問 13 地区まちづくり推進委員会の事務局を担っていない理由は何ですか。該当するものに○をしてください(○はいくつでも可)。

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1 | 地区内に複数の地区まちづくり推進委員会(または未設立の地区)があり、センターで事務局を担うことが困難なため。 | 2 | まちづくりセンターの業務内容が多く、事務量的に事務局を担うことが困難なため。 |
| 3 | 地区内に事務局を担える人材がおり、センターが担う必要性が低いため。 | 4 | 地区まちづくり推進委員会とまちづくりセンターの関係性が薄く、委員会の内容が理解できていないため。 |
| 5 | 地区まちづくり推進委員会から要望がないため。 | | |

6 その他 []

問 14 事務局機能以外で、地区まちづくり推進委員会等と連携した「協働のまちづくりの推進」に関する業務はどのようなものがありますか。該当するものに○をしてください(○はいくつでも可)。

- | | |
|------------------------|------------|
| 1 各種会議の調整・運営 | 2 事業の企画・運営 |
| 3 会計等経理事務の支援 | 4 研修の企画・運営 |
| 5 委員会の取組等の情報発信 | 6 地域課題の把握 |
| 7 地区まちづくり計画等、各種計画の策定支援 | 8 その他 [|

問 15 今後、地区まちづくり推進委員会の事務局を担う予定や、担うべきという考えはありますか。また、その理由を記入してください。

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

【理由】

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

II 社会教育及び生涯学習の推進に関することについて

問 16 公民館時に行っていた社会教育及び生涯学習の推進に関する業務(事業)について、該当するものに○をしてください(○はいくつでも可)。

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| 1 ふるさとへの愛着を高めるための事業 | 2 住民の主体性を高め、まちづくりの推進に繋げるための事業 |
| 3 人権学習等、学びを深めるための事業 | 4 多様な世代を巻き込み、繋げるための事業 |

5 その他 [

問 17 まちづくりセンターに変わり、それらの事業に拡大や変化はありましたか。

1 ある ⇒ 問 18 へ

2 ない ⇒ 問 19 へ

問 18 拡大や変化があった内容と理由について、具体的に記入してください。

【内容及び理由】

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

問 19 社会教育という手法をとおして、まちづくりセンター地区内で活躍する人材が育成できていますか。

1 できている ⇒ 問 20 へ

2 できていない ⇒ 問 21 へ

問 20 人材育成の手法や内容について、具体的に記入してください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

⇒P8 の問 22 に進んでください。

問 21 できるようになるには、どのような取組が必要で、そのためにどのような制度があると良いと思いますか。意見を記入してください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

Ⅲ 貸館業務及び地域行政窓口業務に関することについて

問 22 ※貸館業務を行っていないセンターは、問 24 へ進んでください。

貸館業務について、公民館からまちづくりセンターに変わったことで、頻度や内容(使用者の使用目的等)の変化がありましたか。

1 変化があった ⇒ 問 23 へ

2 変化はなかった ⇒ 問 24 へ

3 その他 [] ⇒ 問 24 へ

問 23 変化の内容について、具体的に記入してください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

問 24 ※地域行政窓口を行っていないセンターは、問 26 へ進んでください。

令和 3 年度の窓口の受付実績について記入してください。また、公民館からまちづくりセンターに変わり、実績や相談件数の変化について教えてください。

令和 3 年度実績 _____ 件

1 変化があった ⇒ 問 25 へ

2 変化はなかった ⇒ 問 26 へ

3 その他 [] ⇒ 問 26 へ

問 25 変化の内容について、具体的に記入してください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

IV 業務(事業)全般について

問 26 その他、業務(事業)についてご意見やご提案等あれば自由に記入してください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

3 職員(職務)について

公民館時は、地域ごとによって職員配置のルール等が異なり、統一の基準がなかったため、まちづくりセンター化によって以下のルールで職員配置を行っています。

- (1)センター長の勤務時間を拡充
- (2)主事は2名配置
- (3)令和3年4月時点で人口5,000人を超える地区は、主事を1名加配
- (4)本ルールにより職員数が減少する地区は、公民館時の職員数を下回らないよう配慮
- (5)センター長の勤務時間に応じ、事務員を追加配置可能

まちづくりセンター化によって、「協働のまちづくりの推進」が職務として位置づけられたことから、その現状についてお伺いします。

問 27 まちづくりセンターにおける日常の主な業務に該当するものに○をし、その内容を記入してください(○はいくつでも可)。

1 施設の管理運営に関する業務

【内容】

[]
---	--	---

2 事業の計画及び開催における調整業務

【内容】

[]
---	--	---

3 地区まちづくり推進委員会等の事務局業務

【内容】

[]
---	--	---

4 社会教育の推進（はまだっ子共育等）に関する業務

【内容】

[

]

5 各種会議等の調整及び運営に関する業務

【内容】

[

]

6 広報誌（センターだより等）の作成・配布業務

【内容】

[

]

7 貸館に関する業務

【内容】

[

]

8 地域行政窓口業務

【内容】

[

]

9 その他

【内容】

[

]

問 28 センター主催の事業や会議は年間何回程度ありますか。

事業・・・ _____ 回

会議・・・ _____ 回

問 29 まちづくりセンターになり、職務や業務量が増えましたか。

1 増えた ⇒問 30 へ

2 変わらない ⇒問 31 へ

問 30 問 29 で「I 増えた」と回答したセンターへの質問です。増えた職務や業務について、該当するものに○をし、その内容を記入してください(○はいくつでも可)。

1 施設の管理運営に関する業務

【内容】

[]

2 事業の計画及び開催における調整業務

【内容】

[]

3 地区まちづくり推進委員会等の事務局業務

【内容】

[]

4 社会教育の推進（はまだっ子共育等）に関する業務

【内容】

[]

5 各種会議等の調整及び運営に関する業務

【内容】

[]

6 広報誌（センターだより等）の作成・配布業務

【内容】

[]

7 貸館に関する業務

【内容】

[]

8 地域行政窓口業務

【内容】

[]

9 その他

【内容】

[

]

問 31 センター内で、職員の事務分担等を明確にしていますか。

1 している

2 していない

※資料（事務分担表等）があれば送付してください。

問 32 センター内で、情報共有のための会議やミーティングを実施していますか。

1 している【年間 ____回 程度】

2 していない

問 33 センターの業務や運営を円滑にするための職員体制について質問です。

現在の職員数について、該当するものに○をしてください。

1 適正である ⇒ 問36へ

2 多い ⇒ 問34へ

3 少ない ⇒ 問35へ

4 その他

[

]

⇒ 問36へ

問 34 問 33 で「2 多い」と回答したセンターへの質問です。その理由について、該当するものに○をしてください。

1 公民館からセンターに変わって職員は増えたが、業務量が変わっておらず、今後も変わる見込みがないため。

3 その他

[

]

問 35 問 33 で「3 少ない」と回答したセンターへの質問です。その理由について、該当するものに○をしてください。

- 1 公民館からセンターに変わり、業務量が増えたため。 2 公民館時から業務量が多く、職員が増えても対応が困難なため。

3 その他 []

問 36 まちづくりコーディネーターとの連携はありますか。

- 1 ある ⇒ 問 38 へ 2 ない ⇒ 問 37 へ

問 37 問 36 で「2 ない」と回答したセンターへの質問です。連携がない理由について、該当するものに○をしてください。

- 1 センターで事業等の運営が十分できており、必要性がないため。 2 まちづくりコーディネーターと何を連携してよ
いかわからないため。

3 その他 []

問 38 今後のまちづくりコーディネーターの体制等について希望があればご記入ください。

.....
.....
.....
.....

問 39 職員（職務）について、その他何かあれば自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....

4 開館時間及び休館日について

公民館からまちづくりセンターに変わり、開館時間と休館日を全施設統一し、以下のようになっています。

開館時間・・・午前 9 時から午後 9 時まで

休 館 日・・・12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで

参考 公民館時

区分	開館時間	休館日
浜田	午前 9 時から午後 9 時(日曜日は午後 5 時まで)	第 1 日曜日及び第 3 日曜日
金城、旭、弥栄	午前 9 時から午後 9 時まで	日曜日及び土曜日
三隅		日曜日(三隅の体育館を除く)
共通		(1) 国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日 (2) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで

現状の開館時間及び休館日について、お伺いします。

問 40 開館時間に対する意見について、該当するものに○をしてください。

1 ちょうど良い ⇒問 42 へ

2 長い ⇒問 41 へ

3 短い ⇒問 41 へ

4 その他 [] ⇒問 41 へ

問 41 問 40 で「2 長い」、「3 短い」及び「4 その他」を選択したセンターへの質問です。望ましい開館時間と、その理由を教えてください。

開館時間 _____ 時 から _____ 時 まで

【理由】

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
--

問 42 休館日に対する意見について、該当するものに○をしてください。

1 ちょうど良い ⇒ 問 44へ

2 多い ⇒ 問 43へ

3 少ない ⇒ 問 43へ

4 その他

⇒ 問 43へ

問 43 問 42 で「多い」、「少ない」及び「その他」を選択したセンターへの質問です。

望ましい休館日と、その理由を教えてください。

休館日 _____

【理由】

問 44 職員のシフト等の勤務体制上、土日や夜間等については、現状職員不在の場合もあります。

貴センターにおいて、職員不在としている時間や日がありますか。該当するものに○をしてください。

1 ある ⇒ 問 45へ

2 ない ⇒ 問 49へ

問 45 問 44 で「1 ある」と回答したセンターへの質問です。職員不在の日時として、該当するものに○をしてください(いくつでも可)。

1 平日夜間

2 土曜日

3 日曜日

4 祝日

5 その他

問 46 職員不在の日時が生じる理由は何ですか。該当するものに○をしてください(いくつでも可)。

1 職員数やシフトの関係上、対応が難しいため。 2 公民館時に休館日であったため。

3 公民館時から職員不在日としているため。

4 その他

問 47 職員不在の日時における貸館対応について、該当するものに○をしてください。

- 1 シフトを調整し、職員不在日時をずらしている。 ⇒ 問 49 へ
- 2 施設の鍵の開け閉めのみ職員対応としている。 ⇒ 問 49 へ
- 3 使用団体に鍵を貸与し、使用後に返却してもらっている。 ⇒ 問 48 へ
- 4 その他 []
⇒ 問 49 へ

問 48 問 47 で「3 使用団体に鍵を貸与し、使用後に返却してもらっている」と回答したセンターへの質問です。該当するものに○をしてください。

- 1 事前登録等をした団体のみ、鍵を貸与している。
- 2 使用頻度が高い団体のみ、鍵を貸与している。
- 3 使用申請のあった全ての団体等に対し、鍵を貸与している。
- 4 その他 []

問 49 開館時間及び休館日について、その他何かあれば自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

5 運営推進委員について

各センターによって任命できる運営推進委員は、公民館時の人数上限 20 名を廃止し、地域の実情に応じて任命できることとなっています。

問 50 令和 4 年度の運営推進委員の人数を教えてください。

_____人

問 51 まちづくりセンターになり、運営推進委員の人数に変化はありましたか。該当するものに○をしてください。

1 増えた ⇒問 52 へ

2 減った ⇒問 52 へ

3 変化なし ⇒問 53 へ

問 52 問51で「増えた」「減った」と回答したセンターへの質問です。
人数に変化があった理由について、記入してください。

【理由】

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
--

問 53 運営推進委員の選任基準について、該当するものに○をしてください(いくつでも可)。

1 地区まちづくり推進委員会や町内会等の代表者
または役員等

2 社会教育関係団体(文化振興団体、スポーツ振興
団体等)の代表者または役員等

3 学校教育関係者

4 特に明確な基準なし

5 その他 []

問 54 運営推進委員について、その他何かあれば自由にご記入ください。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

問 59 社会教育の推進体制について、その他何かあれば記入してください。

.....

.....

.....

.....

7 連絡調整体制について

問 60 各地域におけるまちづくりセンターの連絡会、センター長会及び主事会の開催状況について、該当するものに○をしてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 年間 1～2 回 | 2 年間 3～4 回 |
| 3 年間 5～6 回 | 4 年間 7～8 回 |
| 5 年間 9～10 回 | 6 年間 11～12 回 |
| 7 年間 12 回以上 | |

問 61 現状の会議等の連絡調整体制について、該当するものに○をしてください。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 ちょうどよい ⇒問 63 へ | 2 少ない ⇒問 62 へ |
| 3 多い ⇒問 62 へ | 4 その他 [] |
| | ⇒問 63 へ |

問 62 問 61 で「2 少ない」、「3 多い」と回答したセンターへの質問です。希望する回数等あれば、記入してください。

年間 _____ 回程度

問 63 連絡調整体制について、その他何かあれば記入してください。

8 職員の育成について

問 64 まちづくりセンター職員の研修（市が主催するものだけでなく、島根県立西部社会教育研修センター等が実施する研修も含む）について、公民館時と比較し、回数や内容に変化はありますか。該当するものに○をしてください。

1 回数も増え、内容も充実している。 ⇒問 66 へ 2 回数は増えているが、内容が不十分である。

⇒問 66 へ

3 回数も内容も不十分である。 ⇒問 65 へ

4 その他 ⇒問 66 へ

問 65 問 64 で「3 回数も内容も不十分である」と回答したセンターへの質問です。希望する回数について、記入してください。

年間 _____ 回程度

問 66 今後、希望する研修内容について、該当するものに○をしてください（いくつでも可）。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1 協働のまちづくりの推進全般に関するもの | 2 社会教育全般に関するもの |
| 3 事業計画の立て方に関するもの | 4 地区まちづくり計画の策定に関するもの |
| 5 会議の進め方やファシリテートに関する研修 | 6 地域学校協働活動に関するもの |
| 7 人権に関するもの | 8 防災に関するもの |

9 福祉に関するもの

10 産業に関するもの

11 広報に関するもの

12 他地区の取組に関するもの

13 その他

[

]

問 67 社会教育士の称号を取得するための社会教育主事講習について、貴センターの職員で受講希望はありますか。

1 ある ⇒問 68 へ

2 ない ⇒問 69 へ

問 68 問 67 で「1 ある」と回答したセンターへの質問です。社会教育士の称号を取得し、どのように業務に活かしたいと思えますか。ご意見について記入してください。

.....

.....

.....

.....

問 69 問 67 で「2 ない」と回答したセンターへの質問です。その理由について、該当するものに○をしてください。

1 経験が長く、既に社会教育の知識やスキルを身に 2 業務が忙しく、受講する時間がとれないため。
着けているため。

3 取得しても業務に活かそうにないため。 4 取得するメリットを感じないため。

5 その他

[

]

問 70 職員の育成について、その他何かあれば自由にご記入ください。

9 その他全般に関することについて

問 71 最後に、まちづくりセンターに関するご意見等あれば、何でも結構ですので自由に記入してください。

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

「まちづくりセンターの評価・検証」に関する 地区まちづくり推進委員会アンケート

－アンケート調査にご協力をお願いします－

地区まちづくり推進委員会の皆様におかれましては、日頃から本市の協働のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

浜田市では、人口減少や少子高齢化等により、地域課題が多様化、複雑化し、行政だけ、市民だけでは解決できない課題が増えてきています。そのため、令和3年4月に「浜田市協働のまちづくり推進条例」を施行し、これまでの「浜田那賀方式自治区制度」の精神や良いところを引き継ぎ、「全ての人々が一体となった持続可能で元気な浜田」を目指しています。

また、「浜田市協働のまちづくり推進条例」の施行にあわせて、これまで社会教育及び生涯学習の拠点施設であった公民館に、協働のまちづくりを推進する機能を加え、まちづくりセンターに移行しました。その移行にあたっては、「浜田市協働のまちづくり推進に関する条例検討委員会」ならびに「公民館のコミュニティセンター化検討部会」がまとめた検討結果を基に、当面3年程度市直営で運営し、運営方法の評価検証を行うこととしております。

本調査は、市民の皆様のまちづくりセンターに対するお考え等をお伺いし、「まちづくりセンターの評価検証」の参考とさせていただくことを目的に実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和5年1月
浜田市長 久保田 章 市

「協働のまちづくり」とは…

「地域の課題を解決し、住みやすいまちをつくるため、市民や事業者、町内会等、当該地域のまちづくりを行う各種団体、地域協議会、大学などの高等教育機関、市といった、複数の主体が対等な立場で連携、協力し、共に考え、共に行動すること」をいいます。

この調査に関してご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご連絡ください。

浜田市 地域政策部 まちづくり社会教育課
〒697-8501 浜田市殿町1番地
電話 (0855) 25-9204 (直通)
E-Mail : manabi@city.hamada.lg.jp

調査票の回答に当たって

- ◇ 本アンケートは、地区まちづくり推進委員会の代表者（会長）へ送付しています。
- ◇ 回答は、当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- ◇ 「その他」を選んだ場合は、〔 〕内にその内容をできるだけ具体的に書いてください。
- ◇ 調査結果につきましては、集計・分析の上、まちづくりセンターの評価検証の資料として活用させていただきますが、全ての回答を統計的に処理するため、地区まちづくり推進委員会が特定されることはありません。

回答方法

アンケートの回答については、次のどちらかをお選びいただき、ご回答をお願いします。

●回答方法1

郵 送



このアンケート用紙を全て記入していただき、
同封の返送用封筒（切手不用）に入れてご返送ください。

●回答方法2

オンライン
での回答



下のQRコード、またはURLからアンケートをお願いします。
その場合は、アンケート用紙の返送は必要ありません。

オンライン版
QRコード

URL



<https://logoform.jp/form/6gWK/203854>

※回答にあたっては、代表者（会長）様を含め、役員の皆様等、なるべく多く地区まちづくり推進委員会に関わる方の意見を集約した上で回答していただけますと幸いです。

【回答締切】

令和5年2月13日(月)までに、ご投函またはオンラインで回答をお願いします。

団体の名称

地区まちづくり推進委員会の事務局について

問 1 まちづくりセンターは、貴会の事務局を担っていますか。

- 1 担っている ⇒ 問2へ 2 担っていない ⇒ 問8へ

問 2 まちづくりセンターは、貴会の事務局をいつから担っていますか。

- 1 まちづくりセンターになってから ⇒ 問3へ 2 公民館の時から ⇒ 問4へ

問 3 問 2 で「1 まちづくりセンターになってから」と回答した方にお伺いします。まちづくりセンターが事務局を担うことになったきっかけは何ですか（〇はいくつでも可）。

- 1 まちづくりセンターになり、「協働のまちづくりの推進」が業務として加わったため。 2 職員体制の拡充があったため。
3 公民館時から、事務局を担う話があったため。 4 まちづくりセンターから、事務局を担う提案があったため。

5 その他 []

問 4 まちづくりセンターが地区まちづくり推進委員会の事務局として担っている業務について、該当するものに〇をしてください（〇はいくつでも可）。

- 1 各種会議の調整・運営 2 まちづくり総合交付金の申請及び実績報告事務
3 事業の企画・運営 4 会計事務
5 研修の企画・運営 6 委員会の取組等の情報発信
7 地域課題の把握 8 地区まちづくり計画の策定

9 その他 []

問 5 公民館からまちづくりセンターに変わり、事務局機能の充実等変化がありましたか。

1 ある ⇒ 問 6 へ

2 ない ⇒ 問 7 へ

3 まちづくりセンターになってから事務局を担っているため、まだ変化等はない ⇒ 問 11 へ

4 その他 [] ⇒ 問 11 へ

問 6 問 5 で「1 ある」と回答した方にお伺いします。どのような点で変化がありましたか（○はいくつでも可）。

1 職員体制の拡充(勤務時間も含む)による事務処理機能の向上

2 センターの業務に「協働のまちづくりの推進」が加わったことによる職員意識等の変化

3 会議を円滑に運営する等のファシリテート力の向上

4 事業計画策定等の企画力の向上

5 その他 []

⇒P6 の問 11 へ進んでください。

問 7 問 5 で「2 ない」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか（○はいくつでも可）。

1 公民館時から、十分な事務局機能を担っているため。

2 公民館時からまちづくり担当の職員がおり、大きな職員体制の変化がないため。

3 まちづくりセンターになったが、やっていることは公民館時と変わらないため。

4 特になし

5 その他 []

⇒P6 の問 11 へ進んでください。

まちづくりセンターとの連携について

※問 8～問 10 は、まちづくりセンターが地区まちづくり推進委員会の事務局を担っていない委員会への質問です。

問 8 まちづくりセンターと連携した取組はありますか(○はいくつでも可)。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 各種会議の調整・運営 | 2 事業の企画・運営 |
| 3 会計等経理事務の支援 | 4 地域課題の把握(アンケート調査等) |
| 5 組織の見直し・規約改正等の支援 | 6 地区まちづくり計画等、各種計画の策定支援 |
| 7 まちづくりだより等の情報発信 | 8 特になし |

9 その他

[]

1～7及び9 ⇒ 問10へ

8 ⇒ 問9へ

問 9 問 8 で「8 特になし」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。該当するものに○をしてください(○はいくつでも可)。

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 1 地区まちづくり推進委員会だけで十分運営ができており、連携の必要性を感じないため。 | 2 まちづくりセンターがどんな機能や役割を持っているかわからないため。 |
| 3 まちづくりセンターと関係性が無いため。 | 4 連携した取組をしたいが、まちづくりセンターの体制が十分ではないため。 |

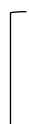
5 その他

[]

問 10 今後、まちづくりセンターと連携を深めたい分野はありますか。該当するものに○をしてください
(○はいくつでも可)。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 各種会議の調整・運営 | 2 事業の企画・運営 |
| 3 会計等経理事務の支援 | 4 地域課題の把握（アンケート調査等） |
| 5 役員等を対象とした各種研修の実施 | 6 事務局としての連携 |
| 7 特になし | |

8 その他



共通設問

問 11 当時、公民館からまちづくりセンターに移行するにあたり、「公民館のコミュニティセンター化検討部会」において、施設の管理運営を委託するかどうかを議論し、当面 3 年程度は市直営で運営することとなりました。

他自治体では、コミュニティセンターや公民館の管理運営を地域が担い、まちづくりを推進している事例があります。まちづくりセンターの管理運営を、地区まちづくり推進委員会等の地域で担い、まちづくりを推進していくことに対する意見をお聞かせください。

- | | |
|---------------|--------|
| 1 できる又はやってみたい | 2 できない |
|---------------|--------|

3 その他



問 12 まちづくりセンターに期待することや、在り方等のご意見があれば自由に記入してください。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。